

様式第4号（第9条関係）

令和6年1月23日

小野市議会議長 山本 悟朗様

派遣議員 掘井 ひさ代

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

- 1 派遣日 令和6年1月10日（水）・11日（木）
 - 2 派遣議員 掘井 ひさ代、前田 昌宏
 - 3 派遣先 滋賀県大津市 JIAM（全国市町村国際文化研修所）
 - 4 内 容 令和5年度 市町村議会議員研修〔2日間コース〕
自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～
- 研修のねらい・・・財政健全化法の概要や健全化判断比率等の各財政
批評についての講義に加え、演習等の双方向型研
修を実施し、財政指標分析の手法について学ぶ
- 事前課題・・・①令和4年度決算に基づく健全化判断比率・資産不足比
率の概要（確報）
②令和3年度地方公共団体の主要財政指標一覧（1～8）
③自治体の令和3年度財政状況資料集を一読
- 参考図書・・・「ゼロからできる 自治体の財政分析」
「一番やさしい自治体財政の本」で事前予習

令和6年1月10日

地方自治体の財政運営と議員の役割

～地方財政の現状と健全化法の概要～

講師 稲沢 克祐 氏

(関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科)

第1部 自治体の環境変化と地方財政

- 1) スtockサイクルの変化
- 2) 自治体の事例 (ヒト・モノ・カネのStockサイクル)
- 3) これからの地方財政の課題

* 国債残高は増加傾向・地方債残高は減少傾向

(特に、臨時財政対策費の新規発行額の減少傾向)

* 人口減少による財政的インパクト

* 高齢化による社会保障支出の増大：政策的経費のクラウディング・アウト⇒自主財源を増やす事が必要

第2部 自治体の財政運営における議員の役割

- 1) 財政民主主義
- 2) 予算と決算：財政分析は決算情報という理解から予算編成を考える

令和6年度当初予算案とは？

4年度決算→5年度執行→5年度補正→6年度当初予算案

第3部 財政分析指標の意義と考え方

- 1) 財政分析指標の意義
- 2) 財政分析 指標解説

形式収支 実質収支 実質収支比率 単年度収支

実質単年度収支 経常収支比率 財政力指数

地方債残高比率 積立金比率

第4部 自治体財政健全化法と予算審議

- 1) 自治体財政健全化法施行13年を経て
- 2) 自治体財政健全化法の意義
- 3) 自治体財政健全化法における議会の対応

健全団体、健全化団体、再生団体の意義

4) 財政健全化法における自治体経営

5) 予算審議と財政規律・自治体財政健全化法

財政健全化団体の職員になったつもりで、予算審議に臨む

自治体財政指標の見方

講師 有限責任監査法人トーマツ

パートナー 公認会計士 小室 将雄 氏

1、 地方公共団体の決算情報の公表

「決算状況調」「地方財政白書」「財政状況資料」等を公表

2、 財政状況資料集の概要

「総括表」「普通会計の状況」「各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率」「財政比較分析表」「経常経費分析表」

「歳出決算分析表」「実質収支比率に係る経年分析、連結実質赤字・黒字の構成分析、実質公債費比率（分子）の構造、将来負担比率（分子）の構造」「公会計指標分析／財政指標組合せ分析表」「施設類型別ストック情報分析表」

3、 自治体財政指標の分類

4、 自治体財政指標の概要

資金繰り指標

形式収支・実質収支・実質収支（赤字）比率

連結実質赤字比率

歳出構造

経常収支比率・義務的経費比率

歳出構造（公債費負担）

実質公債費比率・公債費負担比率

歳出構造（人件費負担）

人件費比率・ラスパイレス指数・人口1,000人当たり職員数

歳入構造

財政力指数・自主財源比率

ストック指標

将来にわたる実質的な財政負担比率・将来負担比率

健全化指標の基本的な考え方

- ① 全体を捉える→連結実質赤字比率、将来負担比率の導入
- ② 当該団体として明確に対処しなければならない赤字・資金不足、将来負担を基本

5、監査委員による健全化指標の審査

令和6年1月11日

財政指標分析に関するグループ演習

令和3年度の財政状況資料集「総括表」「普通会計の状況」「各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率」「市町村財政比較分析表（普通会計決算）」「市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表」を使用してグループ演習（岩手県・奥州市）

- | | | |
|--|---|-------------------------------|
| 1、資金繰りの状況
2、公債費負担の状況
3、人件費負担の状況
4、歳出構造の状況
5、歳入構造の状況
6、ストックの状況 | } | 主な財政上の問題点
当面の対策
中長期的な課題 |
|--|---|-------------------------------|

今後の健全な行財政運営に向けて

講師 有限責任監査法人トーマツ

パートナー 公認会計士 小室 将雄 氏

1、地方行財政を取り巻く最近の動向

実質公債費比率は低下傾向

将来負担比率も低下傾向

経常収支比率は90%前後で推移

2、地方公営企業の経営改革

3、地方公会計の推進

4、これからの自治体経営に求められるもの

今後は、バックキャストの考え方が重要。

「未来志向型」志向フレーム

- ・未来を起点にして課題（今何をすべきか）を整理
- ・来るべき未来に向けて何をすべきか前向きに検討可能（未来の肯定）

5 所 感

議会の役割の一つである「行政に対するチェック機能」を果たすためにも財政の知識を身に付け、財政分析に強くなることが大切ではないかと思い今回の研修を受講しました。

事前課題である「自治体の財政分析」の本を読んで研修に臨みましたが、中々理解することは難しかったです。

2日目の「財政指標分析に関するグループ演習」で「資金繰りの状況」「公債費負担の状況」「人件費負担の状況」「歳出構造の状況」「歳入構造の状況」「ストックの状況」から「主な財政上の問題点」「当面の対策」「中長期的な課題」を導くというグループワークをしました。

私のグループは新人議員3名、2期～4期目の議員3名で、先輩の方から教えて頂き勉強になりました。

財政という分野は広く学ぶことが多いと思いますが、自分が知りたいという所を深掘りして今後の活動に繋げていきたいと思っています。

他市の議員さんと交流があり、財政だけではなく、様々な情報交換が出来とても意義のある研修でした。